

内容のまとまりごとの見通し・振り返りの学習場面をいっそう充実させ、主体的・対話的で深い学びを実現しやすい構成にしました。思考・判断・表現する活動を通じて、より深い理解を促すことができます。

**1 章の学習を見通す導入ページ「学習を始めよう」** p.59-61

章の学習内容をイメージできるような資料を中心に、導入ページを構成しました。資料の読み解きの活動を通じて、生徒が興味・関心や見通しをもって、章の学習に取り組めるように工夫しました。

**学習を始めよう ～中世の暮らしと社会～**

第3章 中世の日本と世界

この章では、12世紀から16世紀までの日本と世界の歴史を学びます。この時代の日本は、武士の力が目立つようになり、幕府が政治を握りました。また、海外との交流も盛んになりました。

この時代の日本は、武士の力が目立つようになり、幕府が政治を握りました。また、海外との交流も盛んになりました。

この時代の日本は、武士の力が目立つようになり、幕府が政治を握りました。また、海外との交流も盛んになりました。

**2 貴族から武士へ** 院政と平氏政権

学習課題？ 平氏は、どのように政治の実権を握り、どのような政治を進めたのでしょうか。

この時代の日本は、武士の力が目立つようになり、幕府が政治を握りました。また、海外との交流も盛んになりました。

**2 学習内容を理解しやすい「本時ページ」** p.64-65

1時間＝見開き2ページごとに「学習課題」（学習の見通し）と、「確認／表現」（振り返り）を設け、生徒の主体的な学習や、確実な内容理解を促します。

この時代の日本は、武士の力が目立つようになり、幕府が政治を握りました。また、海外との交流も盛んになりました。

**3 中世の日本と世界**

中世の時代の移り変わりを確かめよう。

平安時代 鎌倉時代 室町時代 戦国時代

この時代の日本は、武士の力が目立つようになり、幕府が政治を握りました。また、海外との交流も盛んになりました。

**4 学習のまとめと表現ページ**

章全体の学習を振り返り、年表や地図にまとめる作業を通じて、基礎・基本の確実な定着を促します。また、自ら考察し、集団で表現し合う活動を位置づけ、学習した知識や思考の過程を再確認することができるようにしています。

**3 特設ページ**

**働く女性や子どもたち**

この時代の日本は、武士の力が目立つようになり、幕府が政治を握りました。また、海外との交流も盛んになりました。

**4 近世の日本と世界**

この時代の日本は、武士の力が目立つようになり、幕府が政治を握りました。また、海外との交流も盛んになりました。

**4 章の学習を振り返るまとめのページ「学習のまとめと表現」** p.92-95

章全体の学習を振り返り、年表や地図にまとめる作業を通じて、基礎・基本の確実な定着を促します。また、自ら考察し、集団で表現し合う活動を位置づけ、学習した知識や思考の過程を再確認することができるようにしています。

**3 視点を変えて捉えなおす「特設ページ」** p.88-89

本時で学習した内容について、視点を変えて捉えなおすことができるテーマを設定しました。生徒が現代社会の諸課題と照らし合わせ、多面的・多角的に考察できるよう工夫しています。





### 3 「見方・考え方」を働かせた学びや資料の活用を支援する学習コーナー

視点や方法を意識的に働かせながら学習を進めていくための紙面や、資料活用の技能を身に付けるためのコーナーを設定し、思考や理解を深めながら学習を進めていくことができます。

#### → 歴史にアプローチ ～歴史の見方・考え方と学習の進め方

中学校の歴史学習では、さまざまな資料を読み解き、東アジアなど日本と関わり深い世界の歴史も学びながら、それぞれの時代の特色をとらえています。そして、時代の特色がどのように移り変わったかに注目することで、日本の歴史の大きな流れを学んでいきます。小学校の学習で身につけた「社会科の見方・考え方」を活用したり、さらに発展させたりして、中学校の歴史学習をより深めていきましょう。

**● 小学校の学習で活用した「社会科の見方・考え方」と「学習の進め方」**

**時期や変化**  
戦前は、いつ、日本に伝わり、戦後に使われるようになったのかな。

**場所や広がり**  
戦前の戦艦は、平安時代に比べると、どのように変わったかな。

**くふうや関わり**  
戦前時代の人は、どんなくふうをして生活していたのかな。

**比べる**  
大日本帝国憲法と日本国憲法を比べて、どんな違いがあるかな。

**関連づける**  
江戸時代に新しい文化が生まれたこと、戦後などの交通が発達したことには、どのような関係があるのかな。

歴史は、小学6年生のときに、学習したね。

中学校では、どのように学習を進めていくのかな。

歴史学習の見方・考え方の例

- **時期や推移** …… いつ(どの時期)のできごとだろう。
  - ・前の時代から、どのように変化・発展したのだろう。
- **比較** …… AとBを比べると、どのような共通点や違いがあるだろう。
  - ・その共通点や違いから、どのような特色があるといえるだろう。
- **関連** …… できごとが起こった原因や、社会的背景は何だろう。
  - ・できごとの結果や、社会への影響はどのようなものだったのだろう。
  - ・そのできごとと、ほかのできごととはどのような関係があるだろう。

中学校での歴史学習のポイントについて、もう少し詳しく紹介しましょう。

私たちが歴史 7

good

### 教科書の冒頭に位置づけた「歴史の見方・考え方と学習の進め方」 p.7-9

小学校での学習の進め方や「見方・考え方」を振り返り、中学校の歴史での「見方・考え方」を働かせた学習の進め方につなげるためのページを、教科書の冒頭に設定しました。小学校社会科からのスムーズな接続を図るとともに、生徒が「見方・考え方」を意識的に使いこなせるようになるための「道具」として、活用していただけるページです。

#### 歴史学習での見方・考え方の例

- ◆ **時期や推移** …… いつ(どの時期)のできごとだろう。
  - ・前の時代から、どのように変化・発展したのだろう。
- ◆ **比較** …… AとBを比べると、どのような共通点や違いがあるだろう。
  - ・その共通点や違いから、どのような特色があるといえるだろう。
- ◆ **関連** …… できごとが起こった原因や、社会的背景は何だろう。
  - ・できごとの結果や、社会への影響はどのようなものだったのだろう。
  - ・そのできごとと、ほかのできごととはどのような関係があるだろう。

#### 歴史の見方・考え方を自分たちの学習に役立てよう

中学校の歴史学習では、歴史的なできごとや人物の活躍、社会や文化の変化について、原因や背景、結果やその影響など、歴史の流れの中に位置づけながら考えていきます。ここでは、歴史学習を進める際のポイントや資料の活用のしかたを紹介し、p.7に示した「歴史学習での見方・考え方の例」も確認しながら見てみましょう。

**ポイント1** できごとのSWIWHを確認しよう

SWIWHは、When(いつ)・Where(どこ)・Who(だれが)・What(何を)・Why(なぜ)・How(どのように)のことです。これらを確かめることで、できごとのあらましをとらえることができます。

**ポイント2** できごとの原因や背景を確認しよう

歴史上のできごとは、なぜ、どのようにして起こったのか、調べてみましょう。原因は、一つだけではないかもしれません。また、背景について考えるときは、日本の政治・社会・文化などのほかに、世界の歴史の動きも関係することが大切です。

**ポイント4** 時代の特色をとらえよう

その時代のできごとや、政治・社会・文化の動きなどを総合して、時代の特色をとらえよう。各章末の「学習のまとめ」のページを活用すると、時代を大きくとらえることができます。

**ポイント3** できごとの結果や影響を確認しよう

歴史上のできごとは、どのような結果になったのか、調べてみましょう。また、その影響については、政治を行う人・民衆・海外の人々それぞれにどのような影響があったのかなど、さまざまな角度から検討をもって調べることが大切です。

**ポイント5** 時代の転換をとらえよう

ある時代と、その前後の時代を比べて、歴史の推移や転換を考えよう。各章末の「学習のまとめ」のページに注目しよう。資料の比較から時代の転換をとらえることができます。

**歴史の技**

**絵や写真を読み解こう**

絵や写真からは、当時の社会の様子を読み取ることができます。何の、どのような場面が描かれているか、現代との共通点や違いにも注目して見てみましょう。

**新聞を読み解こう**

新聞は、明治時代以降に表れたメディアで、日付が特定できることも特徴です。当時のできごとや、それを世の中がどのように受け止めたかを読み取ることができます。

大正時代の生糸の生産

室町時代のころの田植えの様子(月夜庵の絵) (東京国立博物館蔵)

美濃織を伝える新聞(大正新聞) (1918年6月5日)

歴史の流れを考えたり、考えたことを班や学級で共有してさらに考えを深めたりすることで、歴史のさまざまな面が見えるようになってきます。ここでは、そうした学習を進める際に役に立つ、図・表などを使って思考を整理する方法を紹介します。

**歴史の技**

**図や表に整理して考えよう**

- **年表で表す**
- **時期や順序を明確に示すことができます。**
- **重要だと考えるできごとをしっかりと記入します。**

年	主なできごと(は世界の中で)
15世紀末	*ヨーロッパ諸国が世界進出を始める
1543	*ポルトガル人が日本に鉄砲を伝える
1549	*ザビエルが日本にキリスト教を伝える
1573	織田信長が室町幕府を倒す
1590	徳川家康が全国を統一する
1603	徳川家康が征夷大将軍になる
…	…

近世初期の主なできごと

戦国大名の支配から江戸幕府の支配への変化

```

    graph TD
      A[戦国大名の支配] --> B[徳川家康の統一事業]
      B --> C[徳川幕府の全国支配]
      C --> D[徳川幕府の天名統制(幕藩体制)]
      E[勢力争いや戦乱] --> B
      F[徳川幕府の権力の低下] --> D
      G[ヨーロッパ人の来航・鉄砲の伝来・南蛮貿易] --> B
  
```

● **表に整理する**

できごとをさまざまな面から理解したり、項目ごとに比べたりすることができます。項目を決め、それぞれの欄に内容を記入します。右の表のように、SWIWH(だれが、何を、いつ、どこで、なぜ、どのように)などを整理することもできます。

	織田信長	豊臣秀吉	徳川家康	できごと
拠点とした城	安土城	大坂城	江戸城	When(いつ) Where(どこで)
おもな政策	武力で、私領勢力をおさえた。米・布・茶で、商工業を盛んにした。	村ごとに検地を行った。刀狩を行い、武士と百姓を区別した。	征夷大将軍になり、江戸幕府を開いた。武家統制法を定めて、大名を統制した。	Who(だれが) What(何を)
外国との関係	キリスト教を保護した。	朝鮮に2度わたって軍を送った。	朝鮮との交流を再開した。	Why(なぜ) How(どのように)

**3 古代文明がおこった地域**

歴史の技

#### 地図を活用しよう

地図からは、位置や広がり、地形などの地理的条件との関係性などを読み取ることができます。

Q1 文明がおこった地域に共通する地形の特色は、なんだろう。

Q2 それは、文明のおこりとどのように関わっているだろう。

▲ p.22-23

#### 歴史の技

### 狂歌を読み取ろう

民衆は、滑稽や政治批判を取り入れた短歌(狂歌)をよみました。この狂歌からは、当時の政治を人々がどのように見ていたかを読み取ることができます。

Q1 一と二の狂歌は、それぞれ田沼と松平のどちらの時代のことをよんだものだろう。

Q2 三の狂歌は、どのようなことを風刺しているだろう。狂歌の意味を自分なりの言葉で説明しよう。

一 浅間しや富士より高き米相場  
火のふる江戸に砂の降るとは

二 世の中に蚊ほどうるさきものはなし  
ぶんぶといふて夜もねられず

三 白河の清きに魚のすみかねて  
もとの濁りの田沼恋しき

▲ p.135

#### 歴史学習に必要な技能の習得を支援する「歴史の技」

絵や写真、新聞、地図や系図など、歴史学習の中で活用する機会の多い資料について、資料活用の方法や手順を示しています。教科書中7か所に設けています。

### 生徒が自ら資料を活用する力を育む「読み解こう」

資料を読み解く視点を問いの形で示すコーナーを、教科書中17か所に設けています。読み解きのガイドとして活用することができます。

▲ p.75

**読み解こう**

資料①と②は、どちらも「蒙古襲来絵詞」の一場面です。p.68の「歴史の技」も参考に、絵巻物の読み解きに挑戦してみましょう。

①元軍と御家人の武器や戦い方は、どのような違いがあるだろう。

②季長が戦いに参加したのは、なぜだろう。

③季長がわざわざ鎌倉まで出かけたのは、なぜだろう。

④季長がこれらの場面の絵を描かせたのは、なぜだろう。

5 工場制手工業による綿織物業(尾張名所図会) (国立国会図書館蔵)

**読み解こう**

①②の絵で、働く人たちは、それぞれどのような作業をしているだろう。

③132ページの「木綿の機織をする農家」と比べて、生産方法にどのような違いがあるだろう。

④それぞれの生産方法の利点を説明してみよう。

▲ p.137